

アトウトウミャンマー支援 ニュースレター 第4号 2022年9月1日

事務拠点 〒170-0003 東京都
豊島区駒込 1-28-8 駒込平和教会気付
アトウトウミャンマー支援
atutumyanmar@gmail.com

難民・移民フェスを開催

「おいしい！ これをもっとたくさんの人に食べてもらうフェスをやりたい」というつぶやきから、難民・移民フェスが始まった。イラストレーターのKさんから、移住連のTさん経由で外キ協の私に相談があったのは今年2月。それからアトウトウ・ミャンマーや反貧困ネットワークなど市民団体から有志が集まって実行委員会を立ち上げた。難民申請者、とりわけ仮放免となっている人びとは、働くこともできず、健康保険にも入れず、友人・知人・家族、同胞コミュニティの支えでかろうじて生活している。彼女ら彼らが手芸品



を作り料理を作り、多くの市民がそれらを「食べられる／買える／体験できる／聴ける」フェスをやろうと構想は膨らむばかり。しかし、それは初めてのことであり、会場さがしや販売方法など難問ばかりで、準備はしばしば中断。それでも5月、やっ

と目途がたって宣伝を開始した。

6月4日、難民・移民フェスを東京・練馬駅前のつつじ公園で開催。健康相談や生活相談に訪れた難民申請者や仮放免者をはじめ、ボランティアと実行委員の約80人が、ステージと9つのブース、区民会館の一室に分かれて担当した。アトウの23人は、ミャンマーふりかけなどの販売、タナカ屋（日焼け止め体験）、ミャンマーのお話とネイルケア、健康相談を担当。いっぽう金庫番(?)の私は、入れ替わり立ち代わり訪れてくれ



た市民800人の間で、右往左往するばかりであった。

約1カ月、各教会や各市民団体を通して献金とカンパを呼びかけ、また当日の売上と献金の総計は2,481,312円に上り、そこから1,680,000円を難民・移民の方々に生活支援として渡した（残金は宣伝費・設営費など諸経費と次回への準備金）。

好天に恵まれ、また予期せぬアクシデントもなく無事終えることができたが、難民・移民一人一人が生き生きと話し、歌う、あふれるばかりの笑顔を見ることができたことが、最大の収穫であった。

佐藤信行（さとう のぶゆき）
外キ協事務局／移住連理事

●アトウトウ Tシャツの販売について●

難民・移民フェスに間に合わせ、金井真紀さんのデザインで、アトウトウ Tシャツを販売。1枚2000円の翡翠色のシャツを製作しました。この間700枚を完売。どうもありがとうございました。

ミャンマーを覚える 祈り会

2021年2月12日から始められたミャンマーを覚える祈り会は、今年8月末で81回目を迎えました。第一回目は51人の方々がロコミで参加したオンライン祈禱会ですが、回を重ねるうちに、おおよそ90人前後の方、多い時には100人を超える方々が、毎週金曜日の夜を、ミャンマーを覚えて祈るために集められてきました。

この祈り会はすぐに終わると思っていたので、詳細な記録などを当初からとっておらず、本当に「止むに止まれず」スタートして、それが綿々と続けられている状態です。昨年8月1日に、アトウミャンマー支援として、祈りの具体的な実践の場として団体が設立されました。140を超える個人・団体が賛同者として名を連ねてください、この方々に毎週、祈り会の案内を届けてきました。献金を募り、日本に住むミャンマーの方々の生活支援、ミャンマーにいる人々への生活支援を小規模ながら顔と顔とが見える形でやっていきたいと思います、ということをご確認して始まりました。

支援報告

この1年間で、1000万円を超える献金が寄せられ、そのうちのおおよそ7割近くをミャンマー本国へ送金し、主に、食糧、生活用品に変えて、届けていただきました。ミャンマー国内の状況は想像を絶するほどの凄惨な暴力が1年半以上にわたって続いています。しかし、日本での報道は極端に少なく、先日、衝撃的な言葉を知り合いから言わ



れました。「まだミャンマーって続いているの？」毎週金曜日に、キリスト者も、しかもいろんな背景を持つキリスト教、教派、団体の人が、また、キリスト者ではない人も一緒になって集まって、祈り、ポットバンギングを続けているけれども、社会的にはすっかり大国間の戦争へと視点は移され、アジアの「小さな国」（国土は日本の倍で、人口は半分のミャンマーですが）のことは、一時のこととして忘れ去られていることに驚愕しました。同時に、リアルに起こっている軍事クーデター後のミャンマーがどれほど日本の政策の影響を受けているのかの発信不足に悔いる思いも沸きました。

空爆、放火、略奪、不当逮捕、レイプ、ありとあらゆる面で人権が損なわれ、生活が崩壊させられている現実を見ないで、日本の国会議員は8月にもミャンマーを訪問し、「首都ネピドーとヤンゴンは、平穏だった」とコメントをしています。しかし祈り会で毎回報告されるのは、家を焼かれ、国内避難者として移住させられ、その移住先も狙われている人々の現実です。二人目の日本人ジャーナリストの不当逮捕と、密室裁判が行われていますが、「平穏」と言い切る視点のズレは、国会議員だけではなく、報道の量ですっかりとミャンマーは終わったことにしている私たちにもあると思います。

このような厳しい中ですが、寄せられた献金を毎月の世話人会で丁寧に話し合っ、その送り先、用途を決定しています。





ヤンゴンにあるキリスト教団体を通じて、ワーカーが危険な道のりをなんとか通り抜け、アトウトウから送られたお金で食糧や子どもたちの文具、教科書を届けていただいています。



の間の生活費、教える人の生活費など、とてもこの計画が実現するとは思えないところが、アトウトウの献金を受け取った村の人々との相談で、このプロジェクトに献金を用いよう、これから、若い人々に新しい国を作っていく時が来たら、きっとこれが良いことに変わると希望を持って、二人の女性たちが選ばれ、アトウトウ奨学生として学びが始まりました。

お二人の写真を見ると、とても誇らし気で、そしてやる気に満ちていると私は思いました。6ヶ月間の訓練を受け、教える方々の生活も支えながら、実践へと送り出される予定です。

8月から始まりましたので、クリスマスが終わる頃には、彼女たちは働き始めることでしょう。引き続き祈っていきたいと思います。Maji Hkawn Tsin さん、Mangshang Ting Lwi さんです（カチンのお二人です）。



●アトウトウのシフラとプア？●



中国との国境沿いにある村にいた10代の女性たち二人を、助産師の学びのために学校へ送りたい、というリクエストを受けました。今、空爆を受け、移動させられている人々が、その避難所で出産を迎えることが増えているそうです。しかし、助産師が少なく、死産や、妊婦の死亡にもつながることが多発しているとのこと。希望者を募り、助産師の学びをと、計画が練られていました。しかし、その学び

の間の生活費、教える人の生活費など、とてもこの計画が実現するとは思えないところが、アトウトウの献金を受け取った村の人々との相談で、このプロジェクトに献金を用いよう、これから、若い人々に新しい国を作っていく時が来たら、きっとこれが良いことに変わると希望を持って、二人の女性たちが選ばれ、アトウトウ奨学生として学びが始まりました。

●日本に住むミャンマー人への緊急支援補助●

日本に住むミャンマーの方々については、特にこの4月から、国軍からの逮捕状のリストに名前が挙げられていた神学者、キリスト教のリーダーの脱出を進め、渡日することに成功され、それに伴って日本語クラスも一つ増えて行われています。また、緊急支援を受け付け、コロナのために急に収入が得られなくなった、病気のため、また出産のため、という理由で生活の急変、また在留資格の就労制限のために、もともとの生活苦がより深刻になっている方々とのインタビューを繰り返しながら、献金からミャンマー出身の方々への補助金を献げています。

多くの方が、少ない収入の中から、ミャンマーにいるご自分のご家族への送金もされています。

それは軍事クーデターのためにミャンマーで失職する人々、家を失う人、息子を失う人（抵抗するための軍に入隊し、亡くなる方）、そして、この1年半にわたるCDMを続けている方々がいるからです。ミャンマー市民の窮状を日本からなんとかしたいと願い、生活を切り詰め、通院や治療をやめてまで送金する方もいらっしゃいました。ヒアリングののち、一人、2万円を補助する活動を続けています。

（報告 渡邊さゆり）

ミャンマーを覚える祈り会

毎金曜日午後9時スタート（オンライン開催：Zoom使用）申し込み不要。

ミーティングID: 835 4339 0368
パスコード: 540189

物資のことなども祈り会で報告中。

2021年8月1日～2022年8月12日アトウトウミャンマー支援会計報告		
収入の部		
献金	のべ761件	10,569,654
収入合計		10,569,654
支出の部		
事務費	ポスター印刷、ポスター配送料、ふりかけ、シャツ発送料、ズーム契約代金	50,829
振り込み手数料		9,565
ふりかけプロジェクト	ふりかけ材料	159,260
Tシャツプロジェクト	シャツ代金、送料、梱包材	501,492
ミャンマーへの支援	在日ミャンマー人を通しての本国支援	6,774,200
在日ミャンマー人支援	緊急支援	850,000
アトウトウ日本語クラス	日本語クラス講師料	144,000
通訳同行支援	通訳、病院、同行支援	45,000
難民フェス	フェスでの在日ミャンマー人支援金、材料費、送料	114,721
支出合計		8,649,067
繰越金		1,920,587

ご献金、ありがとうございました。上記の通り、1年間の会計を報告させていただきます。

＜献金の振込先が変わりました＞

三井住友銀行 横浜駅前支店

店番 547 普通 口座番号 8609321

名義：アトウトウミャンマー支援代表荒木さゆり

この間、外キ協には大変お世話になり、ありがとうございました。独自口座を開設できましたので、どうぞ、上記新設口座を通じて、ご献金ください。

編集・デザイン 柴田朋子